

藤田医科大学

2020 年度

第 2 回アセンブリ教育ワークショップ

テーマ：

「新しいアセンブリ II のプログラム作成」

2020 年 8 月 6 日（木）

大学 1 号館 1 階実習室

はじめに

2020年7月12日に開催したアセンブリ教育ワークショップにおいて、アセンブリIIの改革案についての**課題と問題点**が抽出されました。本日のワークショップでは、これらの**解決策**を話し合います。そこで、1日目のワークショップで話し合われた内容を整理し、予め5種類のテーマを設けました。

- ・ 学生のモチベーション
- ・ 教員のモチベーション
- ・ プロジェクトの見直し
- ・ 全体活動をどのように行えばよいか（全体活動として、振返りの時間を設ける）
- ・ 評価方法をどうすればよいか

今後のアセンブリIIにおいて、従来のプロジェクト活動を生かした上で、教員による学生の**振返りの支援**と多学科混成**チーム**に対する**コーチング**をどのように推進するかといった視点での意見交換を行います。

本日のワークショップで話し合った内容を2021年度以降のアセンブリIIのプログラムに反映します。また、アセンブリ教育全体（アセンブリI、II、III、IV）の改善へと繋がります。

アセンブリ教育センター長
大槻 眞嗣

第2回アセンブリ教育ワークショップ

【スケジュール】

アセンブリ教育WS 2 (8月6日 [木曜日]) 進行表		
		会場：大学1号館1階実習室
時刻	時間	内 容
13:00	30分	受 付
Opning		
13:30	30分	センター長 挨拶 記念写真 前回の振り返り
Group Work		
14:00	60分	アセンブリ教育WS1で抽出された課題・問題点における解決策の検討
15:00	10分	(休憩)
Presentation&Discussion		
15:10	60分	発表 & ディスカッション
Closing		
16:10	20分	まとめ 総括 アンケート記入 修了証授与 閉会の辞
16:30		終了

第2回アセンブリ教育ワークショップ

【参加者一覧】

センター	所属		氏名	グループ
センター長	医学部		大槻 真嗣	★
副センター長	保健衛生学部	リハビリテーション学科	西井 一宏	★
副センター長	医療科学部	医療検査学科	市野 直浩	★
I	医療科学部	医療経営情報学科	服部しのぶ	A
II	医療科学部	医療検査学科	平山 将也	A
III	医療科学部	放射線学科	梅沢 栄三	A
IV	保健衛生学部	看護学科	織田千賀子	A
担当事務	医療科学部	学務課	杉浦 幸代	A
副センター長	保健衛生学部	看護学科	三吉友美子	B
I	医療科学部	臨床工学科	星野 弘喜	B
II	医療科学部	放射線学科	南 一幸	B
III	医学部		太田 充彦	B
IV	保健衛生学部	リハビリテーション学科	会津 直樹	B
戦略企画	保健衛生学部	看護学科	朝居 朋子	B
副センター長	医学部		古澤 彰浩	C
I	保健衛生学部	看護学科	久納 智子	C
II	保健衛生学部	看護学科	梅村 慶子	C
III	保健衛生学部	リハビリテーション学科	伊藤美保子	C
IV	医療科学部	臨床工学科	中井 滋	C
戦略企画	医療科学部	放射線学科	小林 正尚	C
II	保健衛生学部	リハビリテーション学科	三浦 恵二	D
III	保健衛生学部	看護学科	宮本 美穂	D
IV	医療科学部	臨床検査学科	大橋 鈺二	D
情報技術	医療科学部	医療経営情報学科	堀場 文彰	D
担当事務	医学部	学務課	中西紗也加	D
副センター員	保健衛生学部	看護学科	中村小百合	E
I	保健衛生学部	リハビリテーション学科	米本 倉基	E
II	医学部		中川 聡	E
III	医療科学部	臨床検査学科	東本 祐紀	E
情報技術	IT企画開発部	企画開発課	小池 俊行	E
センター事務			松岡 透	事務
センター事務			高柳 友里	事務
	ビジュアルセンター		貝嶋 正義	撮影
	ビジュアルセンター		解良 春恵	撮影

第2回アセンブリ教育ワークショップ
【Opening】



新たなアセンブリⅡにおける問題点・課題

期	種	実践	評価
1期	1期	1期	1期
2期	2期	2期	2期
3期	3期	3期	3期
4期	4期	4期	4期
5期	5期	5期	5期
6期	6期	6期	6期
7期	7期	7期	7期
8期	8期	8期	8期
9期	9期	9期	9期
10期	10期	10期	10期
11期	11期	11期	11期
12期	12期	12期	12期
13期	13期	13期	13期
14期	14期	14期	14期
15期	15期	15期	15期
16期	16期	16期	16期
17期	17期	17期	17期
18期	18期	18期	18期
19期	19期	19期	19期
20期	20期	20期	20期
21期	21期	21期	21期
22期	22期	22期	22期
23期	23期	23期	23期
24期	24期	24期	24期
25期	25期	25期	25期
26期	26期	26期	26期
27期	27期	27期	27期
28期	28期	28期	28期
29期	29期	29期	29期
30期	30期	30期	30期
31期	31期	31期	31期
32期	32期	32期	32期
33期	33期	33期	33期
34期	34期	34期	34期
35期	35期	35期	35期
36期	36期	36期	36期
37期	37期	37期	37期
38期	38期	38期	38期
39期	39期	39期	39期
40期	40期	40期	40期
41期	41期	41期	41期
42期	42期	42期	42期
43期	43期	43期	43期
44期	44期	44期	44期
45期	45期	45期	45期
46期	46期	46期	46期
47期	47期	47期	47期
48期	48期	48期	48期
49期	49期	49期	49期
50期	50期	50期	50期
51期	51期	51期	51期
52期	52期	52期	52期
53期	53期	53期	53期
54期	54期	54期	54期
55期	55期	55期	55期
56期	56期	56期	56期
57期	57期	57期	57期
58期	58期	58期	58期
59期	59期	59期	59期
60期	60期	60期	60期
61期	61期	61期	61期
62期	62期	62期	62期
63期	63期	63期	63期
64期	64期	64期	64期
65期	65期	65期	65期
66期	66期	66期	66期
67期	67期	67期	67期
68期	68期	68期	68期
69期	69期	69期	69期
70期	70期	70期	70期
71期	71期	71期	71期
72期	72期	72期	72期
73期	73期	73期	73期
74期	74期	74期	74期
75期	75期	75期	75期
76期	76期	76期	76期
77期	77期	77期	77期
78期	78期	78期	78期
79期	79期	79期	79期
80期	80期	80期	80期
81期	81期	81期	81期
82期	82期	82期	82期
83期	83期	83期	83期
84期	84期	84期	84期
85期	85期	85期	85期
86期	86期	86期	86期
87期	87期	87期	87期
88期	88期	88期	88期
89期	89期	89期	89期
90期	90期	90期	90期
91期	91期	91期	91期
92期	92期	92期	92期
93期	93期	93期	93期
94期	94期	94期	94期
95期	95期	95期	95期
96期	96期	96期	96期
97期	97期	97期	97期
98期	98期	98期	98期
99期	99期	99期	99期
100期	100期	100期	100期

現行アセンブリⅡにおける問題点・課題

1. 教員のモチベーション :Cチーム
2. 学生のモチベーション:Dチーム
3. プロジェクトの見直し:Bチーム
4. 全体活動をどのように行えばよいのか? :Eチーム
(時期、回数など)
5. 評価方法をどうすればよいのか? :Aチーム

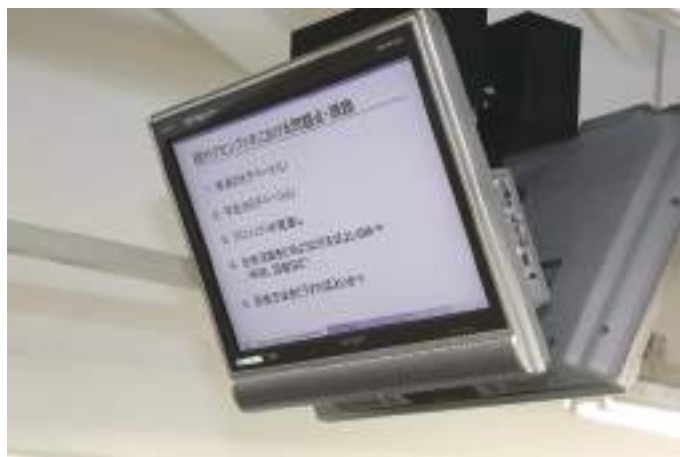
現行アセンブリⅡにおける問題点・課題

1. 全体活動をどのように行えばよいのか?
(時期、回数など)
2. 評価方法をどうすればよいのか?
3. 教員の負担を軽減するにはどうすればよいのか?

新たなアセンブリⅡにおける問題点・課題

1. PJが多種多様で目的も異なるが大丈夫か?
⇒田口先生曰く、「大丈夫」
 2. コーチングスキルを身につけられるか?
⇒?? どのくらいの時間が必要か?
 3. ファシリテートを行うことで教員の負担が増えないか?
⇒?? 増えるかも…
- 理想としては「PJ担当教員」の負担を減らしたい…
でないと、参加率が減少する可能性が…

Group Work の様子



1. 教員のモチベーション：Cチーム



教員のモチベーションが上がらない原因と解決法

(原因)

- ・PJにより労力、負担に差があることへの不公平感
PJを立ち上げた教員以外のテーマへの関心の低さ
- ・学生指導のスキルの問題
- ・ゴールが不明確で学生に学ばせることも不明瞭
- ・労力に対して正当な評価ではない

(解決法)

- ・教員の評価方法について検討が必要
労力に見合った評価
学修成果に対する評価

2. 学生のモチベーション：Dチーム



- ・活動後のアンケート調査によると学生の評価は悪くないが、やらされ感のある学生が20%いる。
- ・プロジェクト選択時の情報はポータルサイトに掲載しているが見ていない学生がいる。
→ ポスター・プレゼンテーション・動画などを活用し、3年生からのアドバイスを取り入れる。
- ・受入れ先の要望（期待）のみではなく、学生の提案を取り入れ主体的に行動する仕組みを考える。
- ・活動の初期に受け入れ先との交流をセッティングし、地域の人々の要望を学生がどう感じ取るか、これは患者からの要望を医療人が応えることに重なる。

3. プロジェクトの見直し：Bチーム



主体的な活動にする

- 1) 学生の主体性、裁量度を高める
 - ・10～11月に自主的なプロジェクトを公募する
 - ・学生にメンバー構成、テーマ設定を委ねてもよい
- 2) 教員も変わる(教員のスーパーバイズ・サポート体制)
 - ・プロジェクトに対する姿勢、内容の伝え方を工夫
 - ・教員1人に対して学生は6人とする
- 3) コロナとの共存
 - ・外部での活動にこだわらない
 - ・エビデンスに基づく企画作り
 - ・Web、発表会の活用
- 4) 振り返り、査定
 - ・学生の評価を踏まえ、次年度のプロジェクトを改善

4.全体活動をどのように行えばよいのか？：E チーム



全体活動のあるべき時期・回数

〈4月〉全体オリエンテーション
※振り返りについても説明する

〈7月上旬〉1回目全プロジェクト振り返り

〈10月上旬〉2回目全プロジェクト振り返り

※プロジェクトのプロセスを振り返り改善を見出す
PDCA

〈11月〉活動報告会→マネジメントの報告会

5.評価方法をどうすればよいのか？：A チーム



問題点：PJ 毎に評価を一任 or 全体の共通基準を設けるのか？

評価方法：ループリック評価（評価できるようなPJ）

・誰が評価するのか

学生間ピア評価、外部協力者、担当教員

・何を評価するのか

事前準備、計画、参加度、貢献度、姿勢、発表会、成果物、振り返り

・不合格者への対応

時間数で補う→満たしている場合は？

点数評価で良いか？合否のみで良いか？

・いくつかの評価法の得点を平均化する

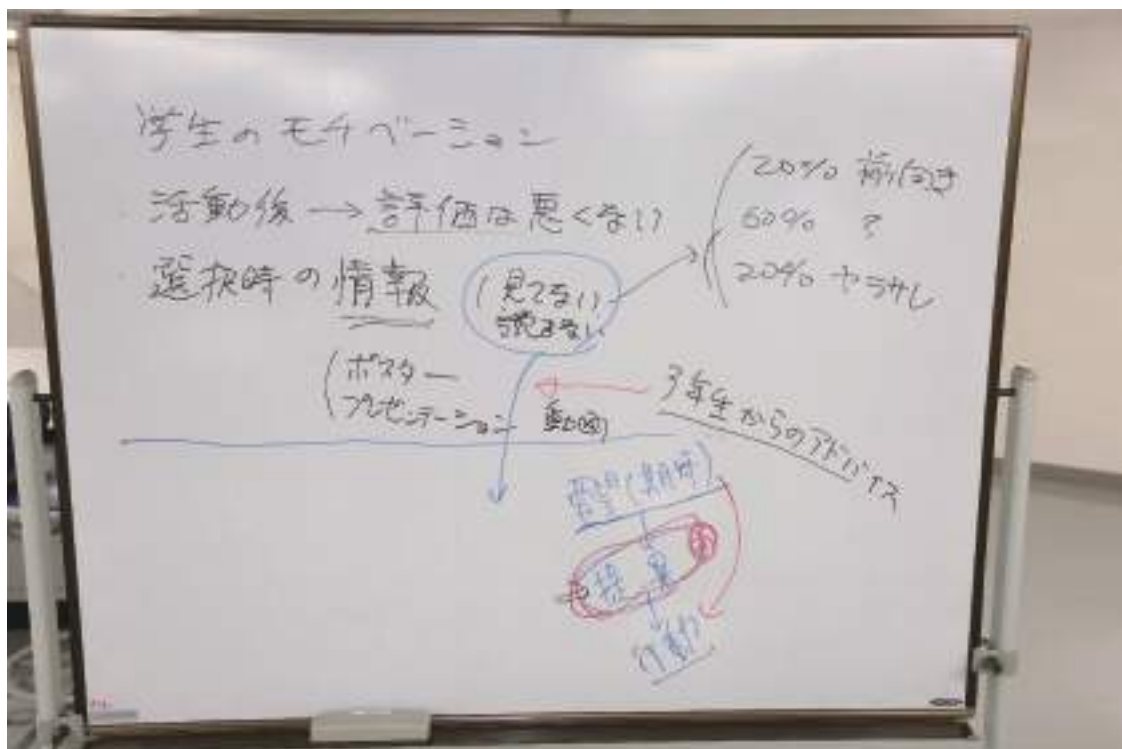
・中間評価を出す（前期）

学生が現状を把握でき後期に向けて改善へ



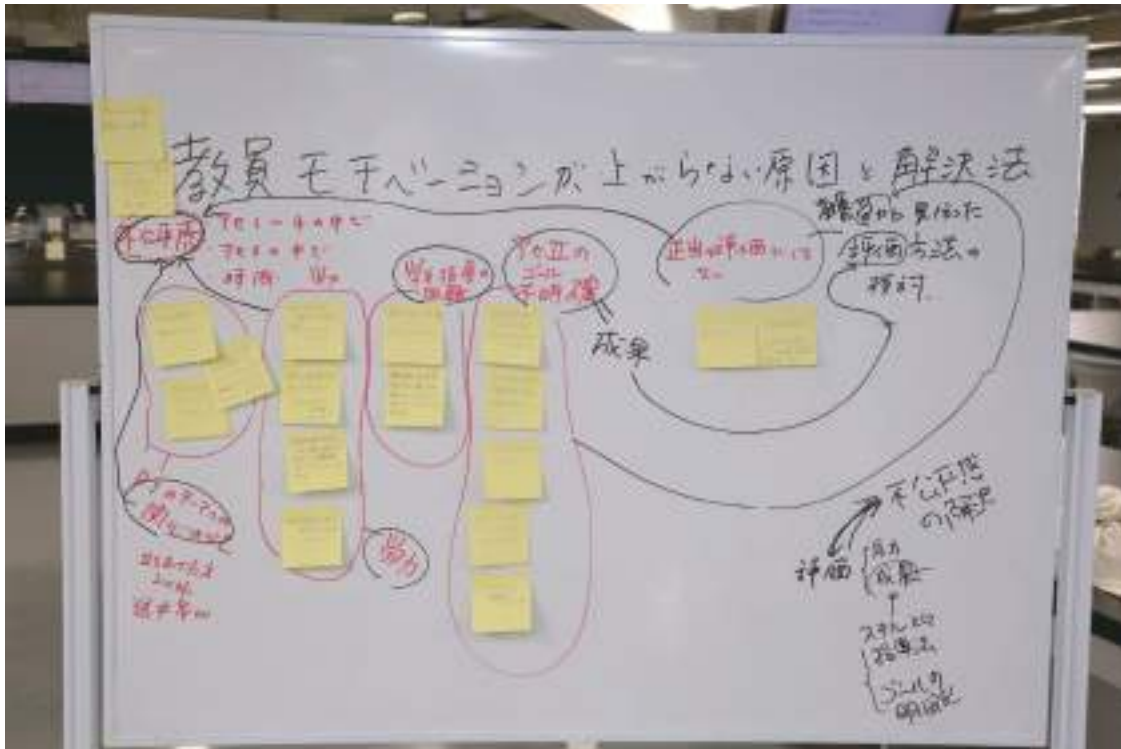
本日のワークショップで討論された内容は各チームのホワイトボードに反映されています。私が各チームを巡回した時に話されていた内容の覚書きを付記します。

● 学生のモチベーション (Dチーム)



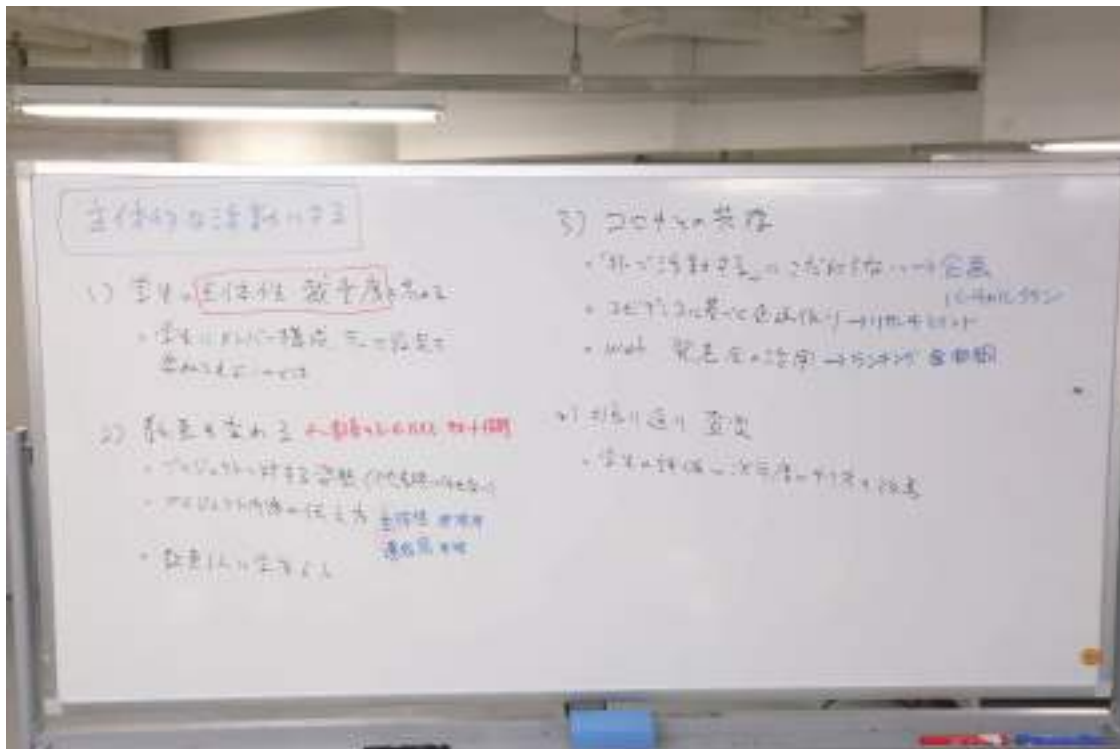
- ▶ プロジェクトを選択する際、ポスター、動画に先輩学生からの情報を盛り込んだ方がよい。受け入れ先の要望に依存せず、学生が**主体的**に活動内容を提案するようにする。

● 教員のモチベーション (Cチーム)



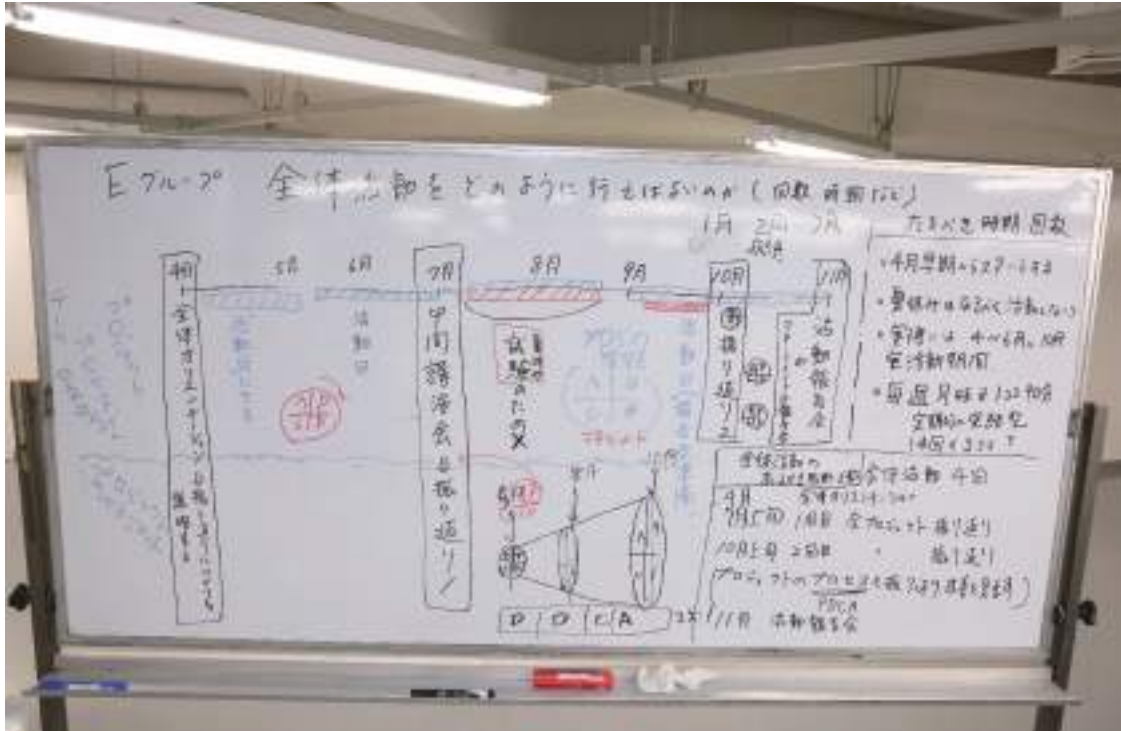
- アセンブリ教育に**労力**を費やしたことを、**教育業績**に反映して欲しい。
- 学生を**指導、支援するスキル**を**向上**する取り組みを行う。

● プロジェクトの見直し (Bチーム)



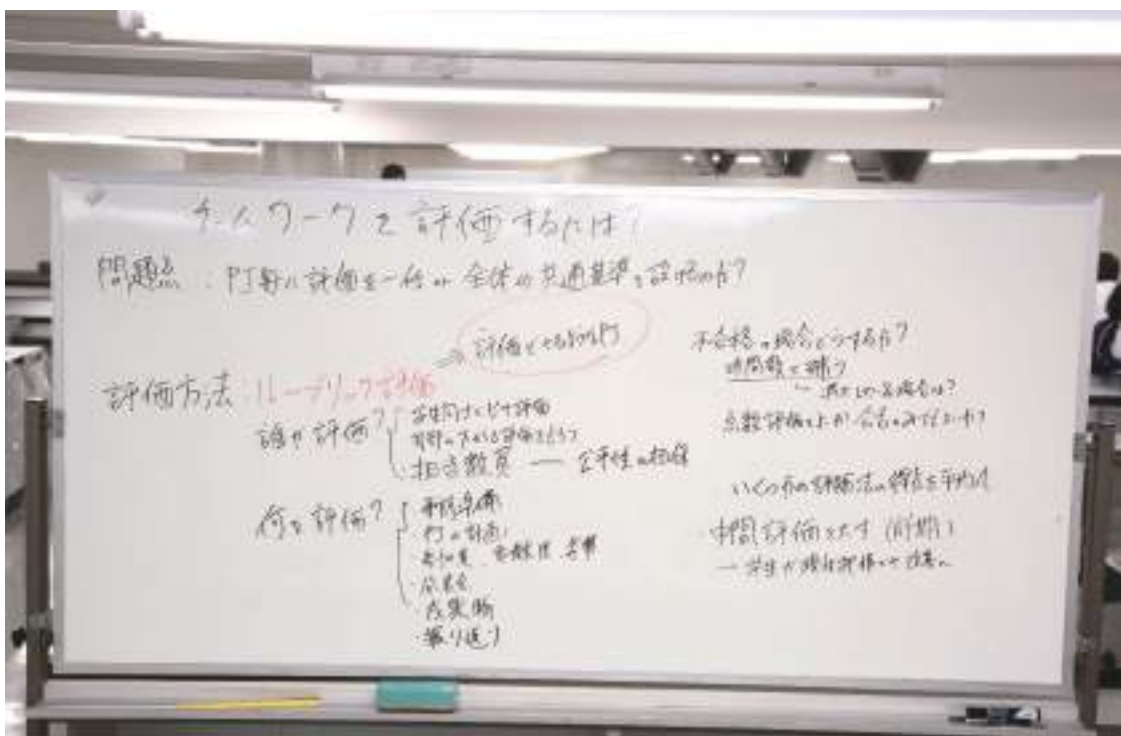
- **1年生の10月頃**にアセンブリIIのチームを決め、学生が主体的にプロジェクト活動に参加できるようにしたい。
- **1人の教員が学生6名**を担当する。多数の教員の1チーム担当、1人の教員の多数チーム担当をさける。

● 全体活動（振返り）をどのように行えばよいか（Eチーム）



- 全体活動の時間を **4月**のオリエンテーション、**7月**の中間報告会、**11月**の活動報告会で設けて、**チームワークについての振返り**を確実に行う。
- プロジェクトを実施したことのみを振返るのではなく、**プロセスの振返り**をすれば、プロジェクトの活動時期による影響を受けにくい。

● 評価方法をどうすればよいか（Aチーム）



- 全体活動としての評価を**具体的に**考える必要がある。また、評価できるようなプロジェクトであることが前提である。
- 評価するのはチームワークである。プロジェクト活動の**マネジメントを評価する**が、活動の**結果**を評価するものではない。

提案された内容をヒントにして、学生、教員共に「参加してよかったと**実感できる**」ような、魅力的なプログラムを皆さんと一緒に創っていきたいと思います。アセンブリⅡの改革のみならず、アセンブリ教育全体の改善へと役立てます。

アセンブリ教育ワークショップに参加してくださった教員の皆さま、ビジュアルセンターの貝嶋様、解良様、事務職員の杉浦様、中西様に心より感謝を申し上げます。

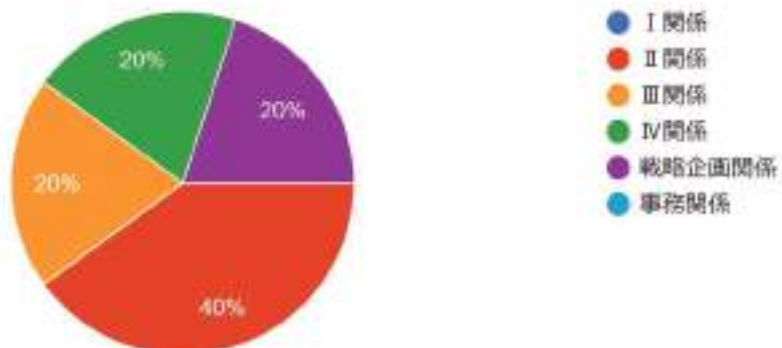


第2回アセンブリ教育ワークショップ

アンケート結果

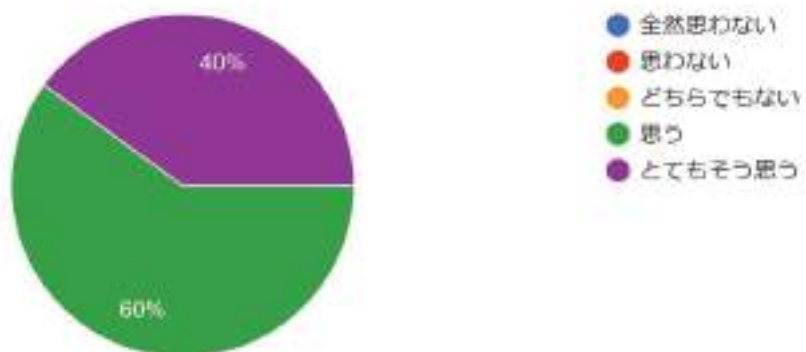
1. アセンブリ教育センターにおける所属を教えてください。

5件の回答



2. 「アセンブリ教育WS 1で抽出された課題・問...ンブリⅡに対する理解が深まったと思いますか？

5件の回答

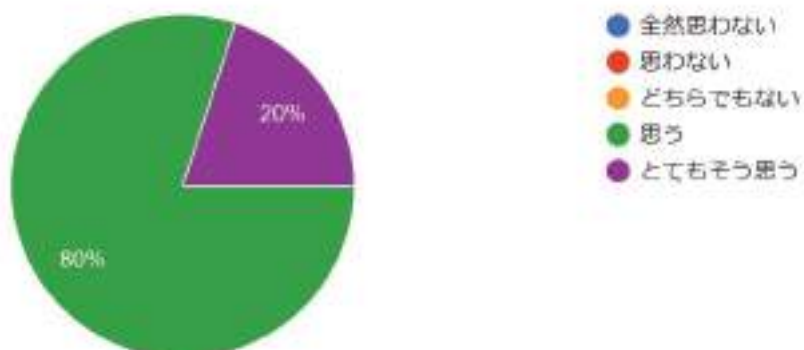


(コメント)

・活発な意見交換ができました。

3. 「発表&ディスカッション」に参加して、新た...ンブリⅡに対する理解が深まったと思いますか？

5件の回答



(コメント)

- ・評価については再考したい。

4. 本WSを通して、新たに実施するアセンブリⅡの実施内容に関して理解ができましたか？（自由記載）

- ・ある程度できたと思います。

5. 新たなアセンブリⅡに期待すること、あるいは不安なことは何ですか？（自由記載）

- ・Iからの連続性、積み上げの重要性を再認識した。今のIの効果がどれだけになるか？と思います。
- ・教員の労力に対する正当な評価
- ・プロジェクトの精査に期待したい。

6. WS全体の中で良かった点、あるいは改善が必要な点は何ですか？（自由記載）

- ・チームビルディングが明確になりました。

7. WSに参加された感想・意見ををお願いします。（自由記載）

- ・WSの関係者の皆様、お疲れ様です。